

広報

# おばま

2

Feb. 2021  
No.806

「夢、無限大」感動おばま



特集 松崎市長新春インタビュー



# 育成！ ふるさと小浜デザイン

夢と希望をもって生活できる社会の実現に向けて

正月にチャンネルOで放送した市広報企画番組から抜粋して掲載しています



新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、予測困難な時代・社会に突入した令和2年。北陸新幹線全線開業に向け、新まちづくり構想を策定した今、地域づくり・魅力あるまちづくりについて、松崎市長が語る――

私は就任4期目の公約として「育成！ふるさと小浜デザイン」を掲げ、①「産業／経営力＆発信力を拡大」、②「環境文化 観光／組み合わせ、魅力増」、③「子育て 教育環境／少子化対策と共生」、④「新型コロナウイルス感染症対策／防止と支援」、⑤「生活 防災／保健・医療・交通、快適便利」、⑥「未来に夢・生きがい・協働」の6つを柱にして、各種施策を進めています。

### 産業／経営力＆発信力を拡大

企業誘致について、昨年10月には、株式会社悠晴（東京都）が飯盛で植物工場の操業を開始し、13人の雇用を創出しました。また、竜前企業団地には、新たに2社の進出がありました。

また、北陸新幹線敦賀開業を見据え、食による交流人口を拡大し、効果を農林水産業に波及させるため、現在、道の駅に隣接する旧四季菜館を、地元農産物を活用するレストランに改修しており、今年中にオープンする予定です。水産業の振興については、昨年は「鯖、復活」プロジェクトの民間移行2年目となる年で、インターネット通

販を活用した新たな販路の開拓や加工品の開発に加え、小浜よっぱらいサバとしては初の輸出となる香港への出荷を行うことができました。また志積では、昨年、新鮮な食材や自然を生かした「海のオーベルジュ志積」がオープンしました。



宿泊棟とレストランで構成される複合施設「海のオーベルジュ志積」

移住・定住については、来年度から、関西を中心とした大学生を受け入れ、地域住民と協働で地域滞在型の活動に取り組み「Rキャン事業」を実施し、市外に住みながら、地域の人々と多様に関わる「関係人口」を増やし、地域の活性化を促したいと考えています。

### 環境文化観光／組み合わせ、魅力増

まちの駅は、昨年8月にリニューアル

大手橋・西津橋の整備については、昨年から多田川に架かる城内橋の工事に着手されるなど、本格的な工事に向けて着実に前進しています。舞鶴若狭自動車道の4車線化については、舞鶴東ICから小浜西IC間において付加車線設置の事業に着手され、舞鶴東ICから若狭上中IC間、三方五湖スマートICから若狭三方IC間が優先整備区間に選定されるなど、着実に前進しています。

### 未来に夢・生きがい・協働

ごみ焼却施設と斎場については、本市と近隣3町で構成する「若狭広域行政事務組合」を事業主体とし、施設の広域化に取り組みんでいます。ごみ焼却場は令和4年度末、斎場は令和6年度中の完成を目指しています。

北陸新幹線全線開業の実現は、本市の発展可能性を大きく広げる500年に一度のビッグチャンスと言えるものです。現在、全線開業に向けて敦賀・新大阪間で順次、駅・ルートの選定に向けた環境アセスメントの手続きが、令和4年度までの予定で進められているところ。さらに、今年の秋以降には、新駅の具体的な位置などが明らかになると想定されています。

また、全線開業を見据えた将来の小浜のまちづくりについては、昨年6月

社に関する必要な支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年度までに設置するなど、これまでの支援をさらに充実していきます。また、子どもたちが、自分が生まれて育ってきたふるさと小浜について、地域の人々とふれあいながら、探究的に学びを進めていく「ふるさと教育」を学校教育の重要施策として位置付けています。昨年は、今富小学校の児童が開発した「サバまん」が完成し、道の駅などで販売されるなど、これらの取り組みが実を結んでいます。



今富小学校児童が開発した「サバまん」には、サバや地元産の野菜が使われている

### 新型コロナウイルス感染症対策／防止と支援

感染防止対策としては、感染状況に応じた情報や予防の仕方について、適宜、防災行政無線や市公式HPなどを通して届けています。支援としては、外出を控える生活の中で、生活習慣病につながる運動不足

を解消していただくとうと「メタボン退治ウォーキング」を実施しました。また、子育て世帯に5千円分のテイクアウト用食事を配ったほか、市内の学校を卒業し、市外でがんばっている若者の皆さんには、本市の特産品とマスクを届けました。さらに、産業全体の活性化のため、地域商品券「おばまチケット」を販売しました。今後、アンテナを高くして、商工会議所、金融機関、あらゆる産業に携わる皆さんとともに、市内の経済の活性化に努めていきます。

### 生活 防災／保健・医療・交通、快適便利

「自助」、「共助」の活動がますます重要となる中、昨年、市内在住または市内に勤める防災士資格を持つ皆さんが、「小浜市防災士の会」を設立しました。今年、これまでの取り組みに加え、同会と連携した取り組みも進め、地域全体の防災力の強化・向上につなげていきたいと考えています。

健康管理センターのリニューアルについては、来年度からいよいよ建設工事に入る予定です。保健・福祉サービスの充実を図り、市民一人ひとりが、健康でいきいきと暮らすことができるよう、令和5年度の供用開始を目指し整備に取り組んでいきます。

ルを行い、郷土の偉人である杉田玄白の偉業を紹介する展示スペースや健康に配慮した商品の販売などが行われています。また、海の駅エリアでは、「川崎海の駅ポートラリー」を実施するなど、本市のにぎわいの創出につなげています。さらに、「R小浜駅前のインフォメーションセンター」が、昨年8月に国の外国人観光案内所認定制度の「カテゴリー1」に認定されました。今後、外国人観光客を案内する施設としての機能の充実と、質の向上に取り組むみたいと考えています。

文化財は、近年、保存優先から活用へと方針転換が進んでいることから、全国に先駆けて「小浜市文化財保存活用地域計画」を策定し、昨年7月に国の認定を受けました。国宝明通寺と宿泊施設が一体となった観光プログラム「松永六感」や、北前船船主の迎賓館を活用した「護松園プロジェクト」など新たな取り組みが始まっています。

### 子育て 教育環境／少子化対策と共生

幼児教育・保育における保育料の段階的な無償化や、病児保育所の設置、「おばま家庭育児応援手当」の創設などにより、子育て世帯の経済的な負担の軽減や、働きながらも安心して子育てできる環境整備に取り組んできました。今後、子どもとその家庭全般の福

に策定した「小浜市新まちづくり構想」に掲げた「スマート&スロースティ」の実現に向け、オール小浜で取り組んでいきます。

### 今後の抱負

新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、今までの常識や経験で対応できない厳しい時代ではあります。北陸新幹線全線開業後の小浜のまちをデザインする大変重要な時期であると考えています。一刻も早い全線開業に向け、市民の皆さん一人ひとりの力を得て、取り組みを進めていきます。加えて、今年小浜市が誕生して、70年という節目の年でもあります。市民の皆さんが夢と希望をもって、生活できる社会の実現に向け、全力で取り組んでいきます。



聞き手／北村 郁子 アナウンサー（チャンネルO・12月16日）



# 申告には マイナンバーが必要です！

申告手続きには、申告書などに申告者本人と扶養親族などのマイナンバーの記載と、申告者本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

## マイナンバーの記載について

確定申告書などの提出の際には、申告者本人と対象となる控除対象配偶者・扶養親族・事業専従者のマイナンバーが分かるものを必ず持参してください。

## 本人確認書類の提示または写しの添付について

申告会場で申告者本人または代理人が申告する場合は、申告者本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。



## 本人確認書類

- ◆マイナンバーカードを持っている人 → マイナンバーカード ※マイナンバーカードだけで、本人確認（番号確認と身元確認）が可能
- ◆マイナンバーカードを持っていない人 → 次の2点が必要

### 番号確認書類

本人のマイナンバーを確認できる書類  
・マイナンバー通知カード  
・マイナンバーの記載がある住民票の写し  
などのうちいずれか1つ

### 身元確認書類

記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類  
・運転免許証 ・健康保険証  
・パスポート ・在留カード  
・身体障害者手帳  
などのうちいずれか1つ

## ■社会保険料控除■

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料を社会保険料控除として算入する場合、支払額を証明する書類の提示が必要です。

領収書などが手元にない人には、各担当課で証明書を発行します。運転免許証などの身分証明書と印鑑を持参してください。

※年金天引きされた税・保険料については、証明書を発行できません。年金の源泉徴収票で確認してください

### ■問い合わせ

【国民健康保険税】税務課 ☎ 64・6004

【後期高齢者医療保険料】市民福祉課 ☎ 64・6018

【介護保険料】高齢・障がい者元気支援課 ☎ 64・6014

国民年金保険料を社会保険料控除として算入する場合、国民年金保険料の「控除証明書」または「領収書」の添付が必要です。

控除証明書は、令和2年11月上旬に対象者に送付されています。同年10月1日以降12月31日までに、その年初めて納めた人については、2月に送付される予定です。

※市役所で証明書の発行はできません

### ■問い合わせ

日本年金機構敦賀年金事務所

☎ 0770・23・9902



## ■医療費控除の提出書類の簡略化■

医療費の領収書を提出する代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。

健康保険組合などが発行する「医療費のお知らせ」などの医療費通知を添付すると、明細の記入を省略することができます。

※明細書に記載された医療費の領収書は、5年間保存する必要があります

※医療費通知とは、医療保険者が発行する医療費の額などを通知する書類で、次の事項が記載されたものをいいます

- ・被保険者などの氏名 ・療養を受けた年月
- ・診療を受けた人 ・療養を受けた病院など
- ・被保険者などが支払った医療費の額
- ・保険者などの名称

※医療費通知に記載されていない月の分は、病院などの領収書を基に、別途集計が必要となりますので注意してください

## ■国民健康保険の医療費控除について■

医療費控除申告の添付書類として使用できる国民健康保険の医療費通知は、世帯主宛てに2カ月に1回送付しており、9月・10月診療分は、2月中旬ごろに送付します。

### ■問い合わせ 市民福祉課 ☎ 64・6018

11月・12月診療分については、4月中旬ごろに発送予定となっております。確定申告期間内に間に合いませんので、「医療費控除の明細書」を病院などの領収書に基づいて作成の上、申告の手続きをお願いします。

# 確定申告をお忘れなく！

受付期間 2月16日(火)～3月15日(月)  
(土日祝を除く) 9時～12時、13時～16時

令和3年度の市県民税、令和2年分所得税の確定申告の受け付けが始まります。期限内の申告をお願いします。

■問い合わせ 【市県民税】税務課 ☎ 64・6004 【所得税】小浜税務署 ☎ 52・1008

## スケジュール

### 【市役所4階大会議室(大手町)会場】

受付期間	対象地区・区
2月16日(火) 22日(月)	小浜(清滝/津島/多賀/鈴鹿/塩竈/生玉)、 西津(小湊/大湊/北塩屋/西長町/北長町/福谷)、 内外海(甲ヶ崎/阿納尻/加尾/西小川/宇久/ 若狭/阿納/犬熊/志積/矢代)、国富、宮川
2月24日(水) 3月1日(月)	小浜(玉前/今宮/広峰/白鬚/酒井/駅前町/ 川崎)、雲浜(南川町/後瀬町/上竹原/関)、松永、 遠敷、今富
3月2日(火) 8日(月)	小浜(竜田/住吉/日吉/神田/大宮/男山)、 雲浜(千種/大手町/四谷町/一番町)、 内外海(仏谷/堅海/泊/田島)、口名田、中名田、 加斗
3月9日(火) 15日(月)	小浜(鹿島/白鳥/貴船/浅間/大原/香取/ 飛鳥/青井)、雲浜(城内/雲浜/山手/水取)、 西津(堀屋敷/板屋町/新小松原/下竹原/ 小松原川東/小松原川西)

### 【JA福井県若狭基幹支店(遠敷)会場】

受付日	対象地区
2月18日(木)	小浜、雲浜、西津、内外海、松永、宮川
2月19日(金)	国富
2月24日(水)	遠敷
2月25日(木)	今富
2月26日(金)	口名田、中名田、加斗

※JA福井県若狭基幹支店での申告は、農業所得のある人が対象です

## 申告会場に来場する人へ ～感染リスク軽減のための対応～

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、必ずマスク着用で、できるだけ一人でお越しいただき、会場入り口での手指の消毒・検温にご協力ください。  
37.5℃以上の発熱がある場合、咳などの風邪の症状がある場合、検温にご協力いただけない場合など感染防止の観点から適切でないと判断した場合は、入場をお断りします。

発熱などの症状がある人や体調のすぐれない人は、無理をせずに、後日あらためて来場をお願いします。

### 申告時の注意点

※混雑を避けるため、できるだけ指定された期間・期日にお越しください

※営業所得、事業所得、農業所得、不動産所得のある人については、「収支内訳書」を事前に作成してからお越しください

※ふるさと納税ワンストップ特例制度を申請した人が、市県民税または所得税の確定申告をした場合は、申告が優先されます。そのため、確定申告をする場合は必ず、ふるさと納税に伴う寄附金控除も申告してください

※青色申告、譲渡所得等(株式、不動産)、雑損控除、令和2年新築・増改築分の住宅ローン控除(1年目)を申告する場合は、税務署での申告・相談をお願いします

## 自宅でいつでも申告を

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため、自宅のパソコンやスマートフォンから申告できるe-Tax(電子申告)をぜひ利用してください。

詳しい申請方法などについては、国税庁HP(<http://www.nta.go.jp>)を参照してください。また、作成した確定申告書などは、郵送でも受け付けます。



↑申告はこちらから

## 小浜税務署会場での申告相談

小浜税務署申告会場では、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、主に公的年金を受給している人を対象に、2月1日から申告相談ができます。入場には、「入場整理券」が必要です。

【対応期間】 2月1日(月)～3月15日(月)(土日祝を除く) 9時～16時

【相談方法】 対応期間中に、申告会場で配布の「入場整理券」を受け取る  
※国税庁のLINE公式アカウントから、整理券の事前発行も行っています  
※整理券の配布状況に応じて、後日の来場をお願いすることがあります



↑入場整理券の事前発行はこちら  
※LINEの登録要





### 福を招く「ふすま絵」が特別公開

京都の商家「三井家」邸の敷地内にあった「三井家御殿」のふすま絵や杉戸絵を展示(食文化館・1月9日)

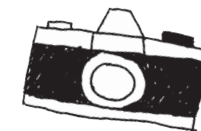
### 年越しに向けお釈迦様をきれいに

国分文化財愛護少年団が恒例の「すす払い」で釈迦如来坐像や堂内を清掃(国分寺・12月27日)



### 区内安全を願う六日講

区民らが稲わらで編んで竜に見立てた約12畝の綱を集落の高所に掛ける(法海・1月6日)



### 小浜市・福井県建築士会若狭支部 災害時における家屋被害認定調査等に関する 協定締結式



### 大規模災害時に市の業務を応援

県建築士会若狭支部が家屋被害状況の調査・判定などの業務を応援する協定を市と締結(市庁舎・12月16日)



### 柱をたたいて福を呼び込む

正月の伝統行事「戸祝い」で地元の子もたちが「ハイ」と呼ばれる棒で各家の柱をたたく(新保・1月9日)



### 大規模災害時に宿泊施設を提供

県旅館ホテル生活衛生同業組合小浜支部と市が要配慮者の避難にホテルなどを活用する協定を締結(市庁舎・1月7日)



### 「働く喜び」現場で感じて

嶺南西特別支援学校の生徒たちが作業学習で制作した製品の販売会を実施(12月21日・若狭東高校)

### 高校生がサバ缶の包装をデザイン

市内企業など2社が協力して開発したサバ缶の包装デザインの原案を若狭高校生が担当(川崎一丁目・12月21日)



### 海上安全と豊漁願う伝統神事

犬熊区で「舟祝い」が営まれ区民らが神社を参拝し港で餅まきなどを実施(犬熊漁港・1月1日)

### 消防出初式で活動への決意新たに

若狭消防組合消防本部・若狭消防署・小浜消防団の職団員が観閲式に臨む(香取・1月5日)



### 新年最初の競りが幕を開ける

県漁連小浜支所で行われた初競りでずらりと並んだ魚が競り落とされる(川崎三丁目・1月5日)



### ふくいサーモン5季目の養殖開始

市トラウトサーモン養殖振興協業体が稚魚3,000尾を輸送車両から海上のいけすに移す(宇久漁港・12月21日)



### くらしの情報

### お知らせ



小浜市役所  
〒917-8585 小浜市大手町 6-3  
☎ 0770-53-1111(代)  
FAX 0770-53-0742(代)  
HP <https://www1.city.obama.fukui.jp/>

### 高齢者運転免許自主返納 支援事業の拡充を予定

生活安全課 ☎ 64・6007

市では、高齢者による交通事故の減少を図るため、65歳以上の市民を対象とする運転免許自主返納支援事業を実施しています。

4月からは、従来の支援内容に加えて、「あいあいバス1年間無料パスカード」を交付予定です。

運転免許を自主返納する人は、ぜひ支援を活用してください。

▼対象 市に住民登録がある65歳以上で、過去1年以内に自動車運転免許の自主返納(申請による全部取消)の手続きを終えた人

※過去に支援を利用した人は除く  
▼新たな支援内容 4月1日以降の申請分について、次の①と②の両方を交付

### 市制施行70周年記念 市民提案事業

人口増未来創造課 ☎ 64・6008

小浜市は、令和3年3月30日をもって、市制施行70周年を迎えます。70周年を記念して、市民の自由な発想を生かした、人づくりやまちづくりにつながる事業の提案を募集します。

▼対象 市民活動団体(NPO法人)やボランティア団体など

### ▼募集事業・補助額

①「おばまを担う人材(財)と地域」育成事業 補助対象経費の全額(上限100万円)

②「郷土愛」醸成事業 補助対象経費の全額(上限20万円)

▼申込期限 2月17日(金)  
▼申込方法 人口増未来創造課窓口または市公式HPに設置の申請書を同課へ提出

※募集事業の内容などについて、詳しくは問い合わせるか、市公式HPを確認してください



①「タクシーチケット1万円分」または「バス回数券1万円分」のどちらか1つ

②あいあいバス1年間無料パスカード

※3月31日までの申請は①のみ交付  
▼申請方法 事前に、最寄りの警察署または運転者教育センターで運転免許証の自主返納手続きを済ませ、次の物を生活安全課窓口まで持参して申請

・申請による運転免許の取り消し通知書(自主返納時に警察が発行)  
・身分証明書(健康保険証など、生年月日が確認できるもの)  
・印鑑(シャチハタは不可)

▼問い合わせ

【免許の自主返納に関すること】  
小浜警察署 ☎ 56・0110 または 嶺南運転者教育センター ☎ 0770・45・2121  
【支援事業に関すること】  
生活安全課 ☎ 64・6007

「おばまチケットスタンプラリー」抽選結果が決定  
商工観光課 ☎ 64・6019  
小浜の特産品が当たる「おばまチケットスタンプラリー抽選会」にたくさんの応募を頂き、ありがとうございました。

### 健康・福祉



### プレパ&プレママ講座 参加者募集

健康管理センター ☎ 52・2222

▼とき 2月16日(水)13時30分~15時

▼ところ 中山クリニック(多田)

▼内容 栄養・妊娠編「妊娠中からのからだづくり」

※母子手帳を持参

▼申し込み 健康管理センターへ電話



### ひとり親世帯臨時特別給付金の申請について

子ども未来課 ☎ 64・6013

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親家庭などを支援する「ひとり親世帯臨時特別給付金」の申請は、2月26日(金)までです。

対象の人で、まだ申請していない人は、早めに申請をお願いします。

▼対象 次の①~③のうち、いずれかに該当するひとり親家庭など  
①令和2年6月分の児童扶養手当を受給している人(追加給付分)

厳正な抽選の結果、当選者100人が決定しました。賞品の発送は、1月下旬ごろを予定しています。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

### 「シニア求人情報」を発行

ハローワーク小浜 ☎ 52・1260

ハローワーク小浜では、毎月2回、高齢者向けの求人情報誌を発行し、同所内で無料配布しています。

パートタイムからフルタイムまでさまざまな求人多数掲載していますので、ぜひ活用してください。

▼2月の発行予定 2月8日(月)・22日(日)

▼ところ ハローワーク小浜(後瀬町)

▼問い合わせ ハローワーク小浜 職業紹介部門まで

### 募集



### 小学校給食調理員 (会計年度任用職員)

教育総務課 ☎ 64・6032

▼任用期間 4月1日~令和4年3月31日

▼勤務時間 週5日、1日あたり6時間15分(休憩時間を除く)

▼勤務先 市内小学校  
▼報酬 月額13万1489円(勤続)

②公的年金などを受給しているため、令和2年6月分の児童扶養手当を受給していない人(基本・追加給付分)

③新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が児童扶養手当受給者と同じ水準になっている人(基本給付分)

※対象者によって申請書類などが異なります。詳しくは問い合わせてください

### 特定健診受診率向上事業用紙 (ピンク色)の提出期限

健康管理センター ☎ 52・2222

対象者でまだ用紙を提出していない人は、用紙に署名のうえ、医療機

年数に応じて加算あり)、期末手当(年2回)、通勤費支給あり、社会保険加入

▼募集人数 若干名

▼選考方法 面接

▼申込方法 2月19日(金)までに、教育総務課へ申込書を提出

### おばま児童文学会「風夢」のおはなし会

とき 2月27日(土)11時~



■問い合わせ  
市立図書館(白鬚) ☎ 52・1042

### おはなし会と作ってあそぼ!

とき 2月13日(土)11時~  
テーマ ひとあしおさきに、ひなまつり  
内容 (1)おはなし  
「おひなさまがうまれたよ!」  
「ひなまつりのおともだち」  
(2)こうさく  
牛乳パックで  
「なかよしおひなさま」をつくろう!

■市立図書館 今月のイベント

関に提出をお願いします。

▼対象 令和2年11月下旬に「診療情報提供書(ピンク色)」が届いている人

※40歳~74歳で、小浜市国民健康保険の被保険者のうち、定期的診療を受けている人に送付しています

▼提出期限 2月26日(金)までに、県内の医療機関に提出してください



### 宝くじの助成金で 整備しました

■問い合わせ 市民協働課 ☎ 64・6009

宝くじ普及広報事業として、(一財)自治総合センターからの助成で、田鳥区が除雪機を整備しました。

今後は、生活道路や歩道の除雪に活用します。

### ▶整備備品

歩行用除雪機 1台





# Event

## 市内の催し物情報を発信

# イベントスケジュール

### 6日(土)・7日(日) 市連合婦人会 テレビ講演会 (放映日程)

**時** 13時30分～14時30分 ※チャンネルOで放映  
**内** 人権講演会「認知症が私たち家族にくれたギフト」  
 講師:信友直子さん (映画監督、ノンフィクション作家)  
**問** 生涯学習スポーツ課 ☎64・6033  
 ※画面録画・撮影・録音は禁止します  
 ※「令和3年婦人のつどい」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止します

### 7日(日) 季節の魚 加工体験教室

今回はイワシをテーマに、魚の下処理から行って、「イワシの蒲焼き」を作ります。  
 ※調理した料理は、試食せずにすべて持ち帰ります  
**時** 14時～16時 **所** 食文化館(川崎三丁目)  
**対** 小学生以上(小学生は保護者同伴)  
**金** 1,000円 **申** 3日前までに要事前申込、先着16人  
**問** 食文化館 ☎53・1000

### 13日(土) 第7回 小浜市成人大学講座

コロナ禍であらためて生活リズムの確立を築く「眠育」の重要性や、脳づくりと心身の健やかな成長のために大切な乳幼児期の睡眠の働きについて学びます。講師は前田勉さん(NPO法人里豊夢わかさ理事長・日本眠育推進協議会理事)  
**時** 14時～15時30分 **所** 中央公民館(大手町)  
**金** 無料 **申** 前日までに要事前申込、先着35人程度  
**問** 生涯学習スポーツ課 ☎64・6033

### 19日(金)・20日(土) 食文化館 季節の調理体験

黒豆ごはん、牡蠣と谷田部ねぎのグラタン、生ワカメと根菜のスープ、いちご大福を作ります。  
**時** いずれも10時～13時 **所** 食文化館(川崎三丁目)  
**対** 小学生以上(小学生は保護者同伴)  
**金** 1,000円 **申** 3日前までに要事前申込、先着16人  
**問** 食文化館 ☎53・1000

### 20日(土) 認知症の人と家族の会「小浜のつどい」

現在介護中の人、介護を終えた人、認知症に関心がある人など、誰でも気軽に参加してください。  
 テーマ「冬の健康～運動不足を解消しよう～」  
**時** 13時30分～15時30分  
**所** 中央公民館(大手町) **金** 無料 **申** 申込不要  
**問** 認知症の人と家族の会 世話人 森美津子さん ☎67・2341

### 3月初旬のイベント

#### 7日(日) 令和2年度保護者セミナー

発達が気になりな子や学校への行き渋りがある子を持っていたり、子育てに不安があったりする保護者を対象にしたセミナーを開きます。今から実践できる子育てのヒントを学びましょう。  
**時** 10時～12時 **所** サン・サンホーム小浜(遠敷)  
**内** 「生きる力を育てるために、今できることは」  
 講師:龍谿乗峰さん(旧敦賀短期大学 教授)  
**金** 無料 **申** 3月3日(土)までに要事前申込  
**問** CokoUta(小浜市母子の家児童発達支援センター) ☎53・2603  
 ※会場施設内で託児も可能ですが、一時預かりなどのサービスを利用可能な人はご協力をお願いします

#### 7日(日) 咲楽館講座発表会

**時** 10時～15時10分 **所** 働く婦人の家(大手町)  
**内** 各講座の展示・体験・発表  
 ※例年実施しているお茶席について、今回は中止します  
**金** 入場無料  
 ※体験については、費用(材料費など)が必要な場合あり  
**問** 働く婦人の家 ☎52・7002

凡例  
**時** = 時間 **所** = 場所 **対** = 対象 **内** = 内容  
**金** = 料金 **申** = 申込締切、定員など  
**問** = 問い合わせ先、申し込み先



マネジメントを務める宿のラウンジは、宿泊者同士の交流はもちろん、地元の産品を展示販売するPRの場にも活用します。興味があればぜひお声がけください!

今月号は  
 とくがわ たかふみ  
**徳川 貴文**  
 がお届けします



地域おこし協力隊が、日々の活動や感じたことをレポート!

## 隊員たちのよもやま日誌

### 小浜の印象と

### 地域おこしへの再決意

「自然が近くて気持ち良いな」というのが、私が小浜に来て最初に感じたことです。山も海も近くて海岸線が入り組んだ独特の自然環境と、海の幸・山の幸がそれぞれ豊かであることはとても魅力に感じました。

私の活動拠点である志積は、内外海地区の集落のひとつですが、各集落は、距離は近くても海・波・風などの自然環境が異なり、水揚げされる魚種や漁法も違う、というのが非常に印象的でした。

隊員になって約半年が経ち、小浜を盛り上げようと活動する人たちを知る機会も増えました。その上で今、あらためて感じることは、ここで暮らす人々がよりイキイキされてこそ「地域おこし」「地域活性化」であるということです。

地域の人たちと一緒に、前向きに活動し、チャレンジしながらイキイキと暮らすこと。その結果として、観光客や関係人口が増え、経済的な効果につながる一助になれるよう、引き続き、協力隊として小浜で暮らしてまいります。

## 健康生活のつどい

### コロナ禍での

### 子どもの予防接種

### 子どもの受診が減少

今や全世界で脅威となっている新型コロナウイルス。休みの日に旅行することや、外で遊ぶことすら気を遣う日常となつてしまいました。そのような状況で、子どもの予防接種や検診に行きづらいつ感じることが多くあり、一時期は予防接種や定期健診を受ける子どもたちが減つてしまつたという現象が、日本全国で起こりました。

### 予防接種とは

予防接種とは、ワクチンを投与することにより、疑的に感染を起すことのできるウイルスや細菌に対し、免疫を獲得するという仕組みです。国や自治体から勧められている予防接種のワクチンは、かつて多くの子どもたちの命を奪ってきたウイルスや細菌の抗体を作るために開発されたものであり、今では全世界の多くの子どもたちを救っています。予防接種の普及により天然痘が絶滅したことも有名です。



杉田玄白記念 公立小浜病院

■問い合わせ ☎52・0990

小児科  
 松尾星弥 医師

### 子どもにとって大切なこと

新型コロナウイルスの感染拡大が進行し、第三波による感染者数増加が日々叫ばれています。皆さまは、自分の子どもがいつ感染するかわからない中、毎日を過ごされているかと思えます。

しかし、こんな時だからこそ、子どもにとって本当に大切なことは何かを考える機会なのかもしれません。

新型コロナウイルス感染症の流行下でも、可能な限り、予定通りに予防接種を継続していくことが非常に重要であると、日本小児科学会が発表しています。これを機に、日本全国の医療機関が一斉懸命努力し、子どもたちが安全に予防接種を行えるよう外来環境を整えています。

保護者の皆さまには、ぜひスケジュールを守り、予防接種を行っていただくようお願いいたします。



生守区の一画に、昨年11月にオープンした洋菓子店。店のオーナーであり、菓子の製造から販売まで、すべてを担っているのが的場さんです。小学6年生の頃から、菓子作りが好きだったと話す的場さんは、夢をかなえるために、専門学校で学んだ後にケーキ店に就職。3年かけて菓子の腕を磨き、「自分でレシピから作ったケーキを、多くの人に食べてもらいたい」と、開業を決意しました。店には、日替わりでメニューが異なる小さなケーキや、焼き菓子が並

一人でも多くの方に届けたい

びます。オープン後の反響を尋ねると、「食べた方がおいしかったと言ってくださってうれしい」と、顔をほころばせる的場さん。「閉店後は仕込みをします。夕食を挟み、夜遅くまで作業をすることも。休日はケーキのレシピを考えています」と、菓子作りに打ち込みます。「的場さんは今後について、「慣れてきたら、ケーキの種類や数を増やしたい。おいしいと自信を持って出せるものを、一人でも多くの方に届けたいです」と、教えてくれました。



勤務先 パティスリー ネスポワール  
Pâtisserie N'espoir  
ま と ば のぞみ  
的場 望 さん  
(24歳・生守)

運動場で元気良く声を出し、練習を行う小浜第二中学校野球部では、1・2年生18人が活動しています。キャプテンの高橋くんは、小学3年生の時、1学年上の先輩に誘われて地元チームでの野球体験に参加したことがきっかけで競技の楽しさを知り、「中学入学後も野球を続けたい」と同部に入部しました。守備が得意で、強い当たりや捕るのが難しい打球でも、体で止めて捕球します。高橋くんが心がけていることは、意識して声を出すこと。「声を出す

声を出すことを心がける

と、チームの雰囲気は良くなります」と話し、「二中野球部のスローガンは『凡事徹底』です。当たり前のことを極めたい」と、気持ちを引き締めます。顧問の穴塚先生は、「中学生が一生懸命がんばることで、小浜を盛り上げていってほしい」と部員たちにエールを贈ります。高橋くんは、チームの今後について、「春の地区大会での優勝を目標に、みんなが試合を意識した練習ができるようにしていきたいです」と、爽やかな笑顔で語ってくれました。



野球部 キャプテン  
たかはし やまと  
高橋 大和 くん  
(小浜第二中学校2年生)

人が行き交うにぎやかな通りに

紅殻格子の建物が軒を連ね、かつての茶屋街の風情を残す「三丁町」。上中さんは、一帯のにぎわい創出に取り組む市民団体「三丁町寄り合い」の結成メンバーの1人です。同団体は、昨秋に上中さんを含む有志6人で結成。昨年11月には、路上でバザーや飲食、体験などを楽しむ「三丁町バザール」を開催しました。「路地が無電柱化され、飲食店も多くなる三丁町は、ゆっくり歩いて風景やおいしいものを楽しむのに最適」と語る上中さん。

イベント当日の様子を、「予想以上ににぎわいで、自分の持ち場を離れないほどだった」と、苦笑しつつもどこかうれしそうに振り返ります。「自分たちの活動をきっかけにして、一人でも多くの人に三丁町の魅力を知ってほしい」と言う上中さん。「暖かい季節になって、新型コロナウイルスも落ち着いたら、定期的に催しを開きたい。最終的には、イベントのない普段から、さまざまなが行き来するにぎやかな通りにしたいですね」と話してくれました。



三丁町寄り合い メンバー  
かみなか ゆういちろう  
上中 雄一郎 さん  
(47歳・飛鳥)

スタミナ生かしてチームを鼓舞

19人の選手と2人のマネージャーが所属する、若狭高校サッカー部。キャプテンとしてチームを支えるのが、川瀬くんです。川瀬くんのポジションは、守備ラインの両翼に位置するサイドバック。豊富な体力と運動量が求められるポジションで、「スタミナには自信があります。疲れの出る後半でも積極的に声や指示を出して、チームを鼓舞したいです」と胸を張ります。部の雰囲気は「上下関係はあまりなく、フレンドリー」と語る川瀬くん。

「仲が良い分、いざという時に空気を引き締めるのが難しい。日頃から、あいさつや時間管理などプレー以外でもけじめある行動を心がけています」同部は昨年9月に、現体制で初の大会となる県大会に出場。川瀬くんは「苦戦しつつも1勝を挙げ、2回戦の強豪相手にも善戦できた。大きな収穫です」と振り返ります。今後の意気込みを尋ねると、「自分たち2年生は、春の県大会が最後の大会。悔いを残さないよう、全力を尽くします」と話してくれました。



サッカー部 キャプテン  
かわせ たいち  
川瀬 大地 くん  
(若狭高校2年生)




子育て情報 ※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

催し	とき	内容	ところ・問い合わせ
誕生会※	24日㊤ 10時～11時	今月に誕生日を迎えるお子さんのお祝いを楽しみましょう。	子育て支援センター ☎同 ☎56・3386
子育てワイワイ広場	8日㊤、22日㊤ 9時30分～12時	未入園児の親子に2階和室を開放しています。交流の場としてどうぞ。	
母乳育児相談	8日㊤、22日㊤ 10時～11時30分	助産師による母乳育児の相談です。体重・哺乳量の測定も可能。8日㊤は10時から「断乳の話」(参加費300円)も同時開催。	健康管理センター ☎同 ☎52・2222
スクスク元気っ子教室※	16日㊤ 10時～11時	離乳食の相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です。※時間予約制	

体や心・生活の相談 ※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	とき	内容	ところ・問い合わせ
精神保健相談※	2日㊤、16日㊤ 10時～11時30分	心の病気や、アルコール問題、認知症に関する相談に精神科医が応じます。	若狭健康福祉センター ☎同 ☎52・1300
エイズ、肝炎相談・検査	1日㊤、15日㊤ 9時～10時30分	匿名で、エイズ・肝炎に関する検査や、相談(月～金、8時30分～17時)を受けることができます。	
こころの相談	①毎週㊤10時～16時 ②毎週㊤12時～17時	心の悩みを相談してください。	①市社会福祉協議会☎同 ☎56・5802 ②つみきハウス☎同 ☎53・1190
心配ごと相談	10日㊤ 13時～16時	介護など生活での困りごとの相談に応じます。	市社会福祉協議会 ☎同 ☎56・5802
人権相談	16日㊤ 13時～15時	悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください。	働く婦人の家 ☎福井地方事務局小浜支局 ☎52・0238
カフェ・ぼ〜れ	19日㊤ 10時～11時30分	高齢者の生きがいや認知症予防の活動・相談ができます(参加費100円)。	若狭ふれあいセンター ☎坂上和代さん ☎090・5686・4147

※「おひさまカフェ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止します



小浜市の公式 SNS (Facebook・Twitter) で市庁舎5階からの定点観測をお届けしています

左の写真は1月1日㊤撮影

- 小浜市公式 Facebook <https://m.facebook.com/city.obama/>
- 小浜市公式 Twitter [https://twitter.com/obama\\_city](https://twitter.com/obama_city)

**お知らせ**

【各種催しや相談について】  
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や変更になる場合があります。参加を希望する人は、各問い合わせ先に事前に確認してください。

**窓口の延長について**

市役所1階の窓口(市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課)では、毎週金曜日(祝日・年末年始を除く)の執務時間を18時30分まで延長しています。

**広告  
随時募集中**

お問い合わせは  
市民協働課まで  
☎64・6009

休館日

市立図書館	2日㊤・9日㊤・11日㊤(祝)・16日㊤・21日㊤・22日㊤・23日㊤(祝)・24日㊤ ※21日㊤～24日㊤は蔵書点検のため休館
温水プール	1日㊤・8日㊤・15日㊤・22日㊤ ※23日㊤(祝)はレディースタイムなし
若狭図書学習センター	1日㊤・8日㊤・12日㊤・15日㊤・22日㊤・24日㊤ ※25日㊤は2Fのみ休館
市民サービスコーナー	11日㊤(祝)・21日㊤・23日㊤(祝)

休日当番医

7日㊤	★小津外科医院(日吉) ☎52・0072
11日㊤(祝)	★田中整形外科医院(千種一丁目) ☎52・6868
14日㊤	★しんたにクリニック(駅前町) ☎64・5321
21日㊤	中山クリニック(多田) ☎56・5588
23日㊤(祝)	★吉井医院(塩竈) ☎52・0028
28日㊤	★田中病院(遠敷十丁目) ☎56・5353

※★印の当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で小児科医が休日診療を行います

法律や行政・その他の相談 ※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	開催日	時間	ところ	問い合わせ
弁護士無料相談※	2日㊤	13時30分～15時	働く婦人の家	福井弁護士会 ☎0776・23・5255
法律相談(消費生活トラブル)※	4日㊤、25日㊤	14時～16時	嶺南消費生活センター	同 ☎52・7830
出張年金相談※	9日㊤、25日㊤	10時～12時、13時～15時	文化会館4階	敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
行政相談※	16日㊤	13時30分～14時30分	市役所1階	市民協働課 ☎64・6009
結婚相談	18日㊤	9時30分～11時30分	文化会館4階	小浜市婦人福祉協議会 ☎090・4329・0346
結婚相談(本人のみ)	27日㊤	13時30分～15時30分		
高齢者専門相談(法律)※	18日㊤	13時～16時	県社会福祉協議会嶺南支所	同 ☎52・7833

安心と信頼 地元の石屋さん  
お墓ディレクター(1級)在籍  
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

**(有)杉田石材店**

第2・第4土曜と毎週日曜、祝祭日は休業しています。  
お電話でのご相談も承ります。  
小浜市小浜広峰55  
☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

地元学生様を応援します!  
**学割キャンペーン中!**  
入校お待ちしております!  
新型コロナウイルス感染拡大予防を徹底し、教習を行っております。

**小浜自動車学校**

☎0120-52-0839

2月～3月中旬  
**北海道**のご当地ラーメンや、各地の温泉が楽しめるイベントを開催!  
濱の湯で旅行気分を楽しもう!  
お食事処だけの利用もできます!

小浜市川崎3-4 食文化館内  
TEL0770-53-4126

御食園若狭おばま  
**濱の湯**

**古布 買い取ります**

明治・大正・昭和期の木綿  
藍染 無地 縞 紺 型染  
筒描 更紗 裂織 布団皮  
油単 野良着 夜着 風呂敷

※捨てる前に、ご相談ください

リサイクル着物と古布の店 **やまてん**  
小浜市駅前町16-7(ビジネスホテル山海棟前) ☎52-5963

手をかざすだけ かんたん消毒

- 手をかざすだけ。スイッチに触れなくていいから衛生的
- コンパクトサイズで場所をとらない
- 乾電池式だから設置場所は自由

RBLISS センサー式自動手指消毒器  
**2,450円** 安心の国産消毒液も

期間限定 自動消毒器と消毒液のセットがお得!  
JA福井県若狭基幹支店 経済部経済課 ☎56-5024

安全と快適を生む環境づくり。  
ビル総合管理・警備保障システム

**AIVIX**  
株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112  
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268





Life 写真連載  
輝く子どもたち



加斗小学生が花苗を植え付け (JR 加斗駅・12月17日)

市公式 Facebook  
地域の出来事などを発信しています

編集後記

●年明けには、フォトニュース(7P)に掲載した新保区の「戸祝い」の取材に伺いました▶寒空の下、大きな声で「萬目出度うあん」と歌い家々をめぐる子どもたちの姿は、まさに「子どもは風の子」▶中にはコートを脱いでしまう子までおり、無病息災などを祈る伝統行事において、これほど心強いものはないなと感じ入るばかり▶新たな一年に向け元気をもたらえた1日になりました(池)

●寒さ増す昨今、取材で外出の際はできるだけ防寒対策をとるものの、つい暖かい場所を探し求めてしまいます▶その代表が「太陽光」▶日照時間が短い冬季は、日光を浴びることは少なくなりがちなので、出会えた時はぬくもりをかみしめています▶行動することがおっくうにならないように、十分に体を温めて冬を乗り越えたいと思います(理)

人の動き (1月1日)

【人口】 28,934人(前月比 -22人)	【男性】 14,222人	【転入】 48人	【転出】 53人
【世帯数】 12,109世帯	【女性】 14,712人	【出生】 23人	【死亡】 40人